

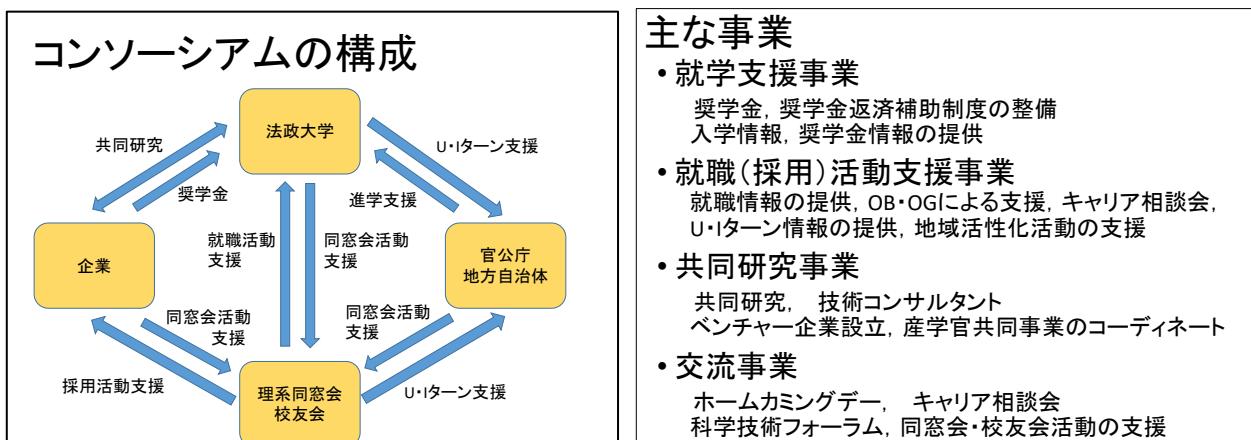


法政大学理系コンソーシアムのご案内

2023年4月20日
設立準備委員会委員長
理工学部長
伊藤一之

1. 目的と概要

本コンソーシアムでは、日本全国ならびに世界各国から高い志を持った優秀な人材を集め、「日本の文化を深く理解し日本の強みを活かすことのできる人材、ならびに、様々な国の文化を尊重し異なるバックグラウンドを持つ人々と力を合わせて事業を成すことのできる人材」へと育て、日本全国へと送り出すことで、持続可能な社会構造を再構築し、日本の国際競争力の維持ならびに更なる発展を目指します。



コンソーシアムの構成と主な事業

2. 主な事業

本学理系同窓会ならびに校友会の協力のもと、以下の4つの事業を柱に活動を行います。

I. 就学支援事業

- コンソーシアムにご参加頂きました企業様、自治体様のうち、ご賛同いただける企業様、自治体様に、日本学生支援機構の貸与型奨学金代理返還制度を導入して頂くべく、その支援をいたします。同制度については、法政大学から在学生ならびに受験生に情報を周知することで、制度の利用を促進します。
- コンソーシアム運営資金の余剰金を原資に、留学生向け給付型奨学金を整備します。
- コンソーシアムに加盟して頂いている自治体の高校様向けに、進路説明会、模擬授業、指定校推薦枠の発給など、進学支援を行います。
- 各種支援策をもとに、日本全国、世界各国から高い志を持った学生を集めます。

II. 就職(採用)活動支援事業

- 「日本の文化を深く理解し日本の強みを活かすことのできる人材、ならびに、様々な国の文化を尊重し異なるバックグラウンドを持つ人々と力を合わせて事業を成すことのできる人材」へと育て、社会に送り出します。
- 理系同窓会、校友会が主体となり、コンソーシアム参加企業様、自治体様の協力を仰ぎながら在学生の就職活動を支援します。
- キャリア相談会、U・Iターン説明会、工場見学、インターンシップなど、学生が仕事に関する生の情報に触れあえる機会を提供し、ミスマッチによる早期退職を抑制します。
- コンソーシアム内に採用活動支援窓口を設置し、企業様の採用活動の効率化に寄与します。具体的には、各種統計情報の提供、就職担当教員との連絡、企業カタログ等配布物の代理配布などを行います。
- U・Iターン情報を学生に周知し、参加自治体様のU・Iターン採用を支援します。

III. 共同研究事業

- 法政科学技術フォーラムなど、大学の持つシーズと企業様の持つニーズを結びつけるイベントを行い、共同研究へと繋げます。
- 技術課題の解決に向けたサポートを行います。
- 新規事業の立ち上げを支援します。

IV. 交流事業

- キャリア相談会、法政科学技術フォーラムなど、各種イベントを企画します。特に、企業様、自治体様と教職員が懇談できる機会も用意し、社会の実情に合わせた教育カリキュラムの見直しや、共同研究、新規事業の立ち上げへと繋がる場を提供します。

3. 運営方法

会計処理の透明性確保の観点から、コンソーシアムは一般社団法人として設立致します。この一般社団法人は、参加企業様からの年会費収入ならびにイベントごとの参加費収入などをもとに独立採算で運営することとし、年間費50万円の特別会員、年間費無料の一般会員、官公庁様向けの後援会員の3つの会員区分を用意いたします。

特別会員の企業様は、全てのイベントに原則無料でご参加頂けます。また、イベントにおける広告の掲載や採用支援窓口のサービスなども無料でご利用いただけます。一般会員の企業様は、必要なイベントを選んでご参加頂き、イベントごとに参加費や広告費などをご負担ください。地方自治体様をはじめ、官公庁様には、年会費無料の後援会員としてご協力頂ければ幸いです。

頂いた年間費やイベント参加費から実費を差し引いた余剰金につきましては、法政大学を通して、学生の奨学金ならびに研究教育環境の整備費として使用させていただきます。

4. コンソーシアム設立の意義

本コンソーシアムは、相互扶助により、全ての皆様にとってメリットとなるような「三方良し」の仕組みとなっています。それぞれの立場から見たメリットは、以下の通りです。

在学生にとってのメリット

- キャリア相談会や企業説明会の実施。また、理系同窓会、校友会によるサポートなど、就職支援体制が強化される。
- 仕事に対する生の情報を獲得する機会が得られ、ミスマッチ就職を回避することが出来る。
- 地方自治体によるU・Iターン就職の支援が受けられる。
- 学生支援機構の貸与型奨学金を企業が代理返済する仕組みが整備され、学生の負担が軽減される。
- コンソーシアムの運営余剰金による給付型冠奨学金が創設される（将来）。

高校生（受験生）にとってのメリット

- 受験の段階で、卒業後の進路も見据えた情報（Uターン含む）が提供される。
- 企業や自治体の持つ奨学金返済補助制度や、大学の奨学金情報が一括して提供される。
- 参加している自治体の高校に対して指定校推薦枠が付与される。
- 自治体、地元企業、校友会からの情報提供など、様々な就学支援が受けられる。
- 経済的理由などで、地元の国公立大学に進学先が限定されていた学生にとって、法政大学という新たな選択肢が生まれる。

企業様にとってのメリット

- 採用活動支援窓口が開設され、様々な支援が受けられる。
- 採用活動に伴う煩雑な作業の合理化・効率化が可能となる。
- キャリア相談会、企業説明会など、学生に企業情報を提供できる機会が提供される。
- ミスマッチによる早期離職の抑制が期待できる。
- 奨学金代理返還については、それ自体が学生に企業の良さをアピールする材料になり、かつ、コンソーシアムがその情報を学生に周知することから、学生のための支援に加え、採用促進として側面も持ち合わせており、学生、企業の双方にとってメリットがある。
- 就職支援企業が行っていた業務を大学および理系同窓会、校友会が非営利として行うため、これまで就職支援企業の利益となっていた部分を、学生のための支援に回すことが出来る。つまり、同じ額の採用経費をかけた場合、コンソーシアムを利用することで、学生により多くの支援が届く。
- 奨学金返済補助制度やインターーンシップの案内など、各企業の創設した制度をコンソーシアムから学生に情報発信することが可能になる。
- 地方に事業所を有する企業様は、U・Iターン採用の支援が受けられる

地方自治体様にとってのメリット

- 大学から各高校に広報を行う際に、Uターン情報も合わせて提供することから、Uターンを見据えた進路選択をする受験生が増える。

- U・I ターン説明会など、就職活動をしている学生に広報する機会が提供される。
- 地元企業と協力した U・I ターン支援が可能となる。
- 地方活性化に結びつくことが期待される。
- 県下の高校生の進路に関する選択肢が増える。
- 大学進学から U ターン就職に至るまで一貫した支援を行うことが可能となる。

5. むすび

人口減少社会という逆風のなかではありますが、法政大学理系コンソーシアムでは、信頼関係のもとで互いに助け合いながら、この困難な状況を乗り越え、次世代を担う若者が希望を持って進んで行ける社会を作るべく尽力して参りますので、是非、皆様のご協力を頂ければ幸いです。

ご不明な点などございましたら、何なりと下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

設立準備委員会委員長 伊藤一之（理工学部長） ito@hosei.ac.jp、 TEL 042-387-6093

各種資料、申込書は以下の URL および右記の QR コードよりダウンロードして頂けます。

<https://www.k.hosei.ac.jp/~ito/consortium.html>

